



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署

煤ヶ谷駐在所

編集*渡部

TEL 046-223-0110

特殊詐欺の被害防止

県警察では、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害を防止するため各種対策を行っています。

◎ 県内で発生している主な手口

○ オレオレ詐欺

振り込め詐欺被害のうち、約7割を占めるオレオレ詐欺は、息子や孫をかたり、「小切手の入ったかばんを失くした。」「会社のお金を買ったのがばれた。」「借金の保証人になってしまった。」「不倫相手を妊娠させた。」

などの名目で、身内を心配する高齢者の気持ちにつけ込んで、お金を振り込ませたり、会社の上司や同僚、弁護士等を装って、自宅やその近くまでお金を受け取りに来ます。「電話でお金を要求する。息子はサギ!？」と考えて、絶対に知らない人にお金やキャッシュカード等を渡さないでください。

○ 架空請求詐欺

証券会社等をかたり、「あなたには、債権を購入する権利があります。権利を譲ってください。」などと話をもち掛け、後日、「インサイダー取引に当たります。」「金融庁が調査します。」「名義貸しは犯罪です。」「逮捕される。」などと不安をあおり、トラブル解決名目でお金を要求し、直接現金を受け取りにきたり、現金を宅配便等で送らせる手口があります。

○ 還付金等詐欺

還付金等詐欺では、役所の職員をかたり、「医療費・保険料の還付金があります。」「今日が期限です。」「急いで近くのATMに行ってください。」などと、還付手続を装って、口座間送金により犯人の口座にお金を送らせるものです。

役所等が医療費等の還付手続として、ATMを操作させることは絶対にありません。

みなさん、騙されないように注意してください。

新生活や進級の時期における少年非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化

～少年の非行・被害防止は家庭と地域の絆から～

春休みから新年度にかけての時期は、子どもたちは進学や進級、就職といった節目を迎え、新しい生活や環境に期待をふくらませます。

その一方で、生活環境が変わるこの時期は、万引き・自転車盗等の非行により検挙・補導される少年が増える傾向にあるほか、携帯電話・スマートフォン・インターネットの活用をきっかけとした、違法・有害情報の閲覧や児童買春・わいせつ行為等の性的被害の増加が懸念される時期でもあります。

県警察では、将来を担う子どもたちを、非行や犯罪被害から守るための活動を推進してまいります。協力が必要とする場合には、家庭や地域の皆様方の協力をお願いいたします。

【事例として】

- 家出中の女子中学生2名が、金銭困窮から宿泊場所と働き口を求めていたところ、知り合いから暴力団組員を紹介され、マンションの1室に住む代わり、日中は売春婦として、夜間は飲食店でホステスとして働かされるなどの被害に遭った。
- 家出中の女子中学生が、無料通話アプリで知り合った素行不良者の男性から、約1か月の間、同居に住まわせる代わりに性的行為を繰り返される被害に遭った。
- 家出中の女子高校生が、コミュニティサイトで知り合った素行不良者の男性から、宿泊場所の提供と現金を渡す代わりとして、性的行為を受けるなどの被害事例もあります。

事件記録板

1月中旬から2月中旬までの事件は、

皆様のご協力により、交通事故等がありましたが、特に大きな事件等はありませんでした。

なお、厚木市内では、車のバッテリーや特にアルミホイールの付いたタイヤの盗難が多発しています。道路等、外から見えない場所に置くなど被害に遭わないようご注意ください。

駐在所の独り言 ～ 犯罪心理 (サイコパシー) について～

私が、駐在所に着任して約2年になり、まもなく3年目となりますが、この3月の異動時期になると凶悪な殺人事件を思い出します。駐在所に異動する直前の平成27年2月20日に中1男子生徒多摩川殺害事件が発生しました。当時、川崎署に勤務しており、被害少年、加害少年らの周辺者も承知しており、その犯人に結び付ける情報もありましたが、異動までの残された時間で犯人や事件に繋がる資料を見つけようと多摩川に船艇を入れて懸命に捜索した記憶があります。また、この記憶から更に過去の同様に背筋が凍るような凶悪な殺人事件(女子高生コンクリート殺人、広島LINE殺人、北九州監禁殺人、名古屋アベック殺人等)も思い出します。事件の詳細を聞くと、何故こんな卑劣、残忍なことが出来るのかと怒りが込み上げてきます。またこうした事件が発生すると、サイコパスという言葉も耳にする事があります。凶悪犯罪を犯した者は、このサイコパスが少なくないと言われています。私自身、サイコパスは、凶悪で人格崩壊者というイメージはあるのですが、実際は詳しく分からないので調べてみると、サイコパシーとは、反社会的な人格を意味する心理用語で、主に異常心理学や生物学的精神医学などの分野で使われており、その精神病質者をサイコパスと呼ぶようです。その特徴として、良心が異常に欠如している。他者に冷淡で共感がない。慢性的に平然と嘘をつく。行動に対する責任が取れない。罪悪感がない。自尊心が過大で自己中心的。口が達者で表面だけは好意的であるが実際は表裏一体とのことです。果たしてこうした人格の人は特別で周りにいないのでしょうか。確かにぴったり合う人はいなくても、それに近い人はいのかもしれない。例えば「自分が辛い思いをしてきたからと他人に厳しくなる人」。具体的には、「俺が若い頃はこんな大変な苦勞をして来た。今のお前は甘え過ぎてるんだ。」などと興奮、激怒し怒鳴りつけるなど、理不尽な厳しさを押し付けられるのを見たり聞いたりした方がいると思います。こうした言動は、言われる当人のみならず、聞いている周りの人達をも傷つけ、精神疾患に至らしめたり、最悪は、自殺に追い込む事や、またこうした言動や行動は、周りや家族にも連鎖することもあるのです。自問自答し、仮にこうした自覚が若干でもあれば、サイコパスでなくても、このような人にならないよう、「自分達の時代はひどかった。だからそういうことはしたくない。辛い思いをしてきたからこそ優しくなりたい。」と自分の意識を変えて行動することで周りも自身も、より明るい未来が拓けていくと思うのです。